

After many years, the sounds of Bechstein comes back to life...

横浜国立大学に眠るベヒシュタインが、今、よみがえる

ベヒシュタイン:



横浜国大には、生誕100年を迎えた素晴らしいピアノがあります。それは、1923年製ベヒシュタインE型コンサート用グランドピアノ。

ベヒシュタイン社の製作したピアノは、スタインウェイやベーゼンドルファーと並び世界の三大ピアノといわれ、リストやドビュッシー等多くの作曲家やピアニストに賞賛され、愛用されてきた名器。とりわけ、横国大にあるE型は、当時のベヒシュタイン社の最高グレードに位置するフラッグシップ器。

数年前、前長谷部学長が率先しクラウド・ファンディングを実施、本格的修復の為に費用を捻出したものの、その後殆ど弾かれる事なく、専ら展示されたままとなっていました。

(※) 富丘会報No.171 Column「ベヒシュタインE型 覚醒せよ!」より



大澤 美穂 ピアノ

大阪府出身。4才よりピアノを始める。桐朋学園大学音楽学部卒業後、同大学研究科を経てブリュッセル王立音楽院マスターコース卒業。これまでピアノをラザール・ベルマン等に師事。第10回園田高弘賞ピアノコンクール第2位、大分県知事賞受賞。第47回ブゾーニ国際ピアノコンクール(イタリア)ファイナリスト並びに「ブゾーニ作品賞」受賞など、国内外のコンクールに多数入賞。

留学中はベルギーを中心に欧州で演奏活動を行っていたが、2001年の東京文化会館でのデビューリサイタルを機に国内での本格的な演奏活動を開始。現在は、東京及び関西を中心にコンサート活動を行っている。なお、2001年、2003年、2005年には、ベルギー各地でのリサイタルも並行して実施した。

作曲家の魂と作品の魅力を多くの人々に伝え、今を生きる力となるような演奏を目指しており、「ノクターンとショパン」、「ベル・エポックの記憶」(フランス音楽)、「ブレイエルで聴く 珠玉のショパン」、「ショパン&シューマン生誕200年記念」など様々な企画リサイタルにも積極的に取り組んでいる。

これまでにCD3枚とアナログレコードを1枚出しているが、最新のドビュッシーのCDは、音楽誌のみならずオーディオ誌でも採りあげられ、注目盤として好評を得ている。

近年行っている本人自らの曲目解説を交えたトーク付きコンサートは、「曲をより深く理解出来て楽しめるようになった。」と多くの聴衆から支持を得ている。

2023年6月にはYouTubeのサブチャンネル「Miho's casual piano」を開始、クラシック以外の曲を毎週1曲ずつ配信している。

2025年は11月1日(土)に大阪府豊中市立文化芸術センター小ホール、11月15日(土)に王子ホール(銀座)にてピアノリサイタルを予定している。

アクセス:

横浜国立大学教育文化ホール 〒240-8501横浜市保土ヶ谷区常盤台79番1号

最寄りバス停 岡沢町

最寄りの門 正門

横浜市営地下鉄

相鉄線(各停)

三ツ沢上町駅 正門まで徒歩約16分

和町駅 南通用門まで徒歩約20分

相鉄・JR直通線/相鉄・東急直通線 羽沢横浜国大駅 西門まで徒歩約15分

※ できる限り公共交通機関をご利用の上お越しください。



次回告知: 2025年12月6日(土)

開場 13:30 / 開演 14:00

於: 横浜国立大学 教育文化ホール

ベヒシュタインで弾くドビュッシー

青柳いづみこによるレクチャーコンサート